

公式戦開催における会場でのガイドラインについて

2020.07.14

【参加者の対策】

(2週間前～開催日)

- ・平熱を超える発熱が無いこと。
- ・咳が出たり、のどの痛みなどが無いこと。
- ・味覚、嗅覚の異常がないこと。
- ・倦怠感などの症状がないこと。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がないこと。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないこと。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との接触がないこと。

※以上の事項に1つでも該当する場合は活動への参加(会場への参加)を見合わせる。

チーム選手、スタッフだけではなく帯同審判員にも同様の確認をチームの責任の上、実行すること。

チーム保護者も同様とする。

【公式戦会場での対策】

(試合前)

- ・それぞれの会場で定められている対策、対応を順守すること。
- ・参加者全員が来場時にはマスクを着用すること。
- ・荷物置場では間隔をとり、密集を避けること。
- ・各チーム消毒液、手洗い用せっけんを持参し、こまめに行うこと。
- ・マッチミーティングについては適切な距離をとり、マスク着用の上行うこと。
- ・試合前ウォーミングアップについては各会場のアップスペースを確認し、密集になる場合には人数制限をして(先発選手のみなど)行う。
- ・試合前のチームミーティングも密集しないように配慮すること。

(試合開始)

- ・試合開始前に行う選手証の確認は今まで通り行う。(距離をとって並ぶこと)
- ・セレモニー及び握手は行わない。選手証チェックが終わり次第ピッチ入場可とする。
- ・試合前に円陣は組まないこと。
- ・得点時のハイタッチ、抱擁なども行わないこと。
- ・ピッチ内につばや痰をはかないこと。手鼻をかむことも注意する。
- ・口に含んだ水をピッチ内に吐かないこと。
- ・飲料ボトルの共有はしないこと(各個人のボトルを用意すること)
- ・ピブス、タオルを共有しないこと。
- ・ベンチ入り選手、スタッフはマスクを着用すること。
- ・怪我人が出た場合は担架で対応する。ない場合は必ずスタッフが対応すること。
- ・試合終了時のセレモニー及び相手ベンチへの挨拶は行わない。

(応援、保護者)

- ・応援については各会場に一任する。
- ・応援スペースでのマスク着用を徹底する。従わない場合は観戦不可とする。
- ・適切な距離での応援をしてもらう。(ピッチとの距離、応援者同士の距離)

(試合終了後)

- ・来場者に陽性者、感染が疑われる者が出た場合は速やかに連盟事務局に報告すること。

(合わせて)

- ・会場で出たごみは必ず持ち帰る。(マスクを捨てていくなどがないように)
- ・忘れ物に今まで以上に気を付けること。

※試合における詳細な部分につきましては大会要項に記載する。